

【令和5年度との比較】

資料の表記について		
4%以上の上昇	◎	※ %の値は「あてはまる」「や
2%以上4%未満の上昇	○	やあてはまる」(肯定的な回答)
変化割合が±2%未満	→	の合計
2%以上4%未満の減少	△	※ データの詳細については別
4%以上の減少	▲	紙(グラフ)参照

1 学校教育全般について (%)

質問項目	保護者	児 童	考 察
①教育目標・教育方針の伝達 ②学校行事等の公開の機会設定 ③環境美化 ④読書活動 ⑤いじめのない学校づくり ⑥保護者への対応 ⑦児童のきまり遵守 ⑧楽しく安心な学校生活	93.1 △ 97.3 → 90.3 △ 88.2 → 81.7 ▲ 95.7 → 94.6 → 91.9 →	87.8 ◎	・ 昨年比①－3.2%③－2.9% ⑤－5.6% ④では、担任の働きかけや図書委員会の取組などにより、図書室を利用、読書に親しむ児童が増えている。多くの良書に触れる機会をこれからも確保していきたい。 ⑤は昨年比－5.6%。 保護者との連携のもと、未然防止、早期発見により一層努めるとともに、取組について周知していきたい。 ⑧は児童が昨年比＋4.1%。引続き、楽しく安心な学校生活が送れるよう支援していきたい。

2 教育目標「やさしい子」の育成について

質問項目	保護者	児 童	考 察
①あいさつ(家庭・地域) ②思いやりの心 ③言葉遣い	80.7 △ 94.1 → 76.9 ○	92.7 ○ 85.4 → 83.9 →	・ ①は昨年比－2.4%だが、「あてはまる」が保護者＋3.1%、児童＋7.6%になっている。個人差はあるものの、よくなっている傾向が見られる。教師から声かけを継続し、家庭の連携を取りながら声かけを継続したい。 ・ ③は昨年比＋3.3%。今後も人権教育の観点に立ち、言語環境の向上や、おたより等で家庭への啓発に努めたい。

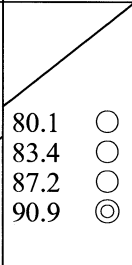
3 学校教育目標「考える子」の育成について

質問項目	保護者	児 童	考 察
①分かりやすい授業 ②進んで家庭学習 ③基礎・基本の徹底への取組み ④教師の個への支援	80.6 → 63.5 △ 74.7 △ 69.3 ▲	82.0 → 97.4 ◎ 96.7 ○ 89.0 △	・ ②の家庭学習は、保護者の割合が－2.6%、児童が＋6.7%。保護者と児童の意識に大きな差(33.9%)が見られる。家庭学習の量や質の向上についてさらに工夫したい。また、保護者と児童でアンケートの文章表現に大きな違いも見られるので、表現内容を再考していく。 ・ ④の個への支援については、学習指導助手等と連携して取り組んできた。朝の学習では、全教員で個別指導に対応している。保護者にもよくなっていることを伝えていきたい。

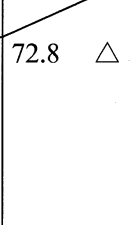
4 学校教育目標「たくましい子」の育成について

質問項目	保護者	児 童	考 察
①体力づくり ②生活習慣 (早寝・早起き・朝ごはん等) ③安全教育(交通安全、防災等) ④根気強さ	79.5 ▲ 87.1 → 92.4 → 83.3 →	88.9 ○ 89.8 → 95.3 ○ 93.2 ◎	・①では体育担当を中心に、雨天時や夏の高温時の室内での体力づくりなどについて、実施の仕方を工夫して取り組んできた。また、休み時間には多くの児童が校庭を走り回ったり、鉄棒やボール遊びをしたりするなど、それぞれが元気に過ごす姿が見られる。さらに、教科体育を含めて、工夫していきたい。 ・②については、職員間での共通理解、児童指導主任ほか関係教諭等での連携した対応を今後も続けていきたい。 ・③④については、保護者は昨年比ほぼ同じだが、児童は③が+3.8%、④が9.1%増えている。 ・④については、行事や学習・係活動などを通じて、児童が「なりたい自分」を明確にして取り組み、振り返りを行うことで、児童自身の成長や努力点を見いださせるような支援を、今後も定着させていきたい。

5 学校教育目標「ふるさとをもちこ子」について

質問項目	保護者	児 童	考 察
①学校教育についての発信 ②学校行事への参加 ③地域の文化財、人財活用 ④地域についての親子の会話 ⑤お世話になった時の感謝の言葉 ⑥地域の方と楽しく学習 ⑦運動会の盆踊りへ楽しく参加	94.6 → 94.7 → 92.4 △ 93.0 ○	 80.1 ○ 83.4 ○ 87.2 ○ 90.9 ◎	・地域の方々との活動が少しずつ浸透してきている。保護者は全項目90%を超えている。自主的に地域の学習に取り組み、地域の良さに気づける児童が増えるよう、継続していきたい。 ・⑦などアンケートの文章表現の見直しを図る。

6 家庭生活について

質問項目	保護者	児 童	考 察
①家庭生活のルールの有無 (テレビ・ゲーム・遊びの時間等) ②将来の夢等の親子の会話 ③子どもへの生活リズムへの配慮 ④しつけ(挨拶・返事・靴そろえ等) ⑤手つだいの実行	77.4 → 80.2 △ 95.7 → 87.6 △	68.6 → 67.6 ○  72.8 △	・①については、「あてはまる」と回答した保護者が26.9%、児童が44.6%と、認識に差がある。生活や身体、学習等への影響について指導するとともに、家庭への啓発を進めたい。 ・⑤については、長期休業中に「にこにこ家族会議」を設定し実践を働きかけてきた。家族の一員としての自覚をもてるような指導をしていきたい。